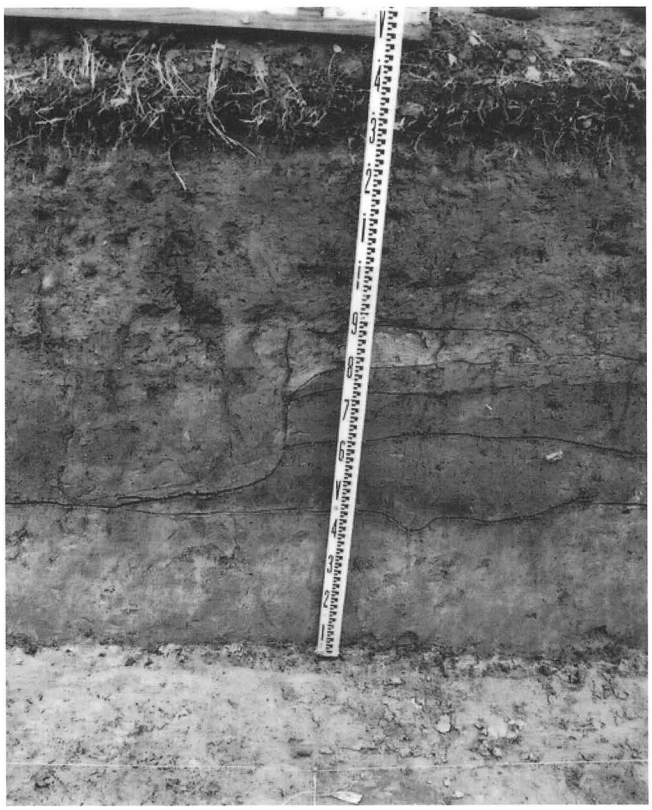
図　版

中門跡の調査を実施した T36 の全景（北から）

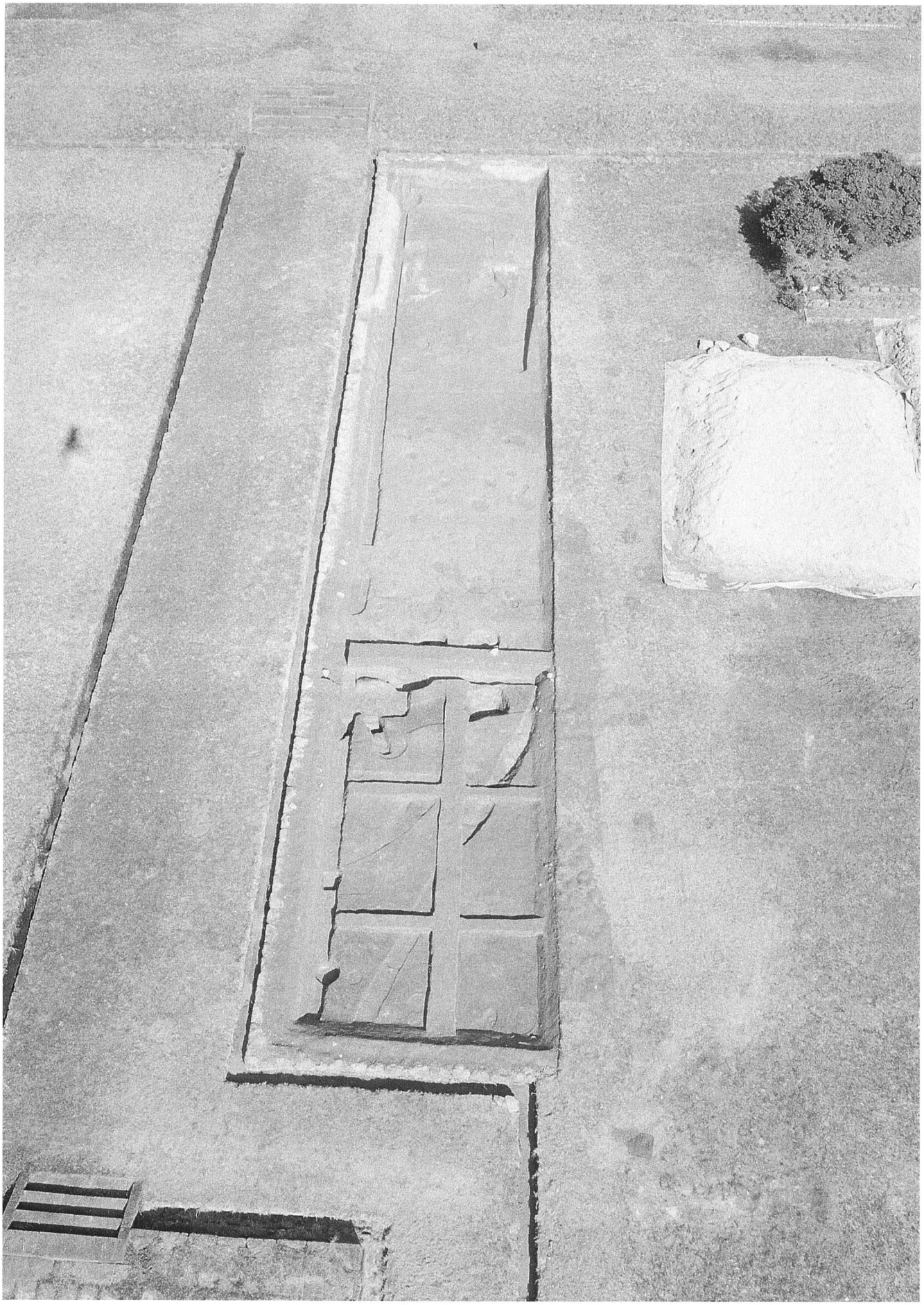
T36-SD3602 全景（北西から）



T36 東壁土層堆積状況（西から）

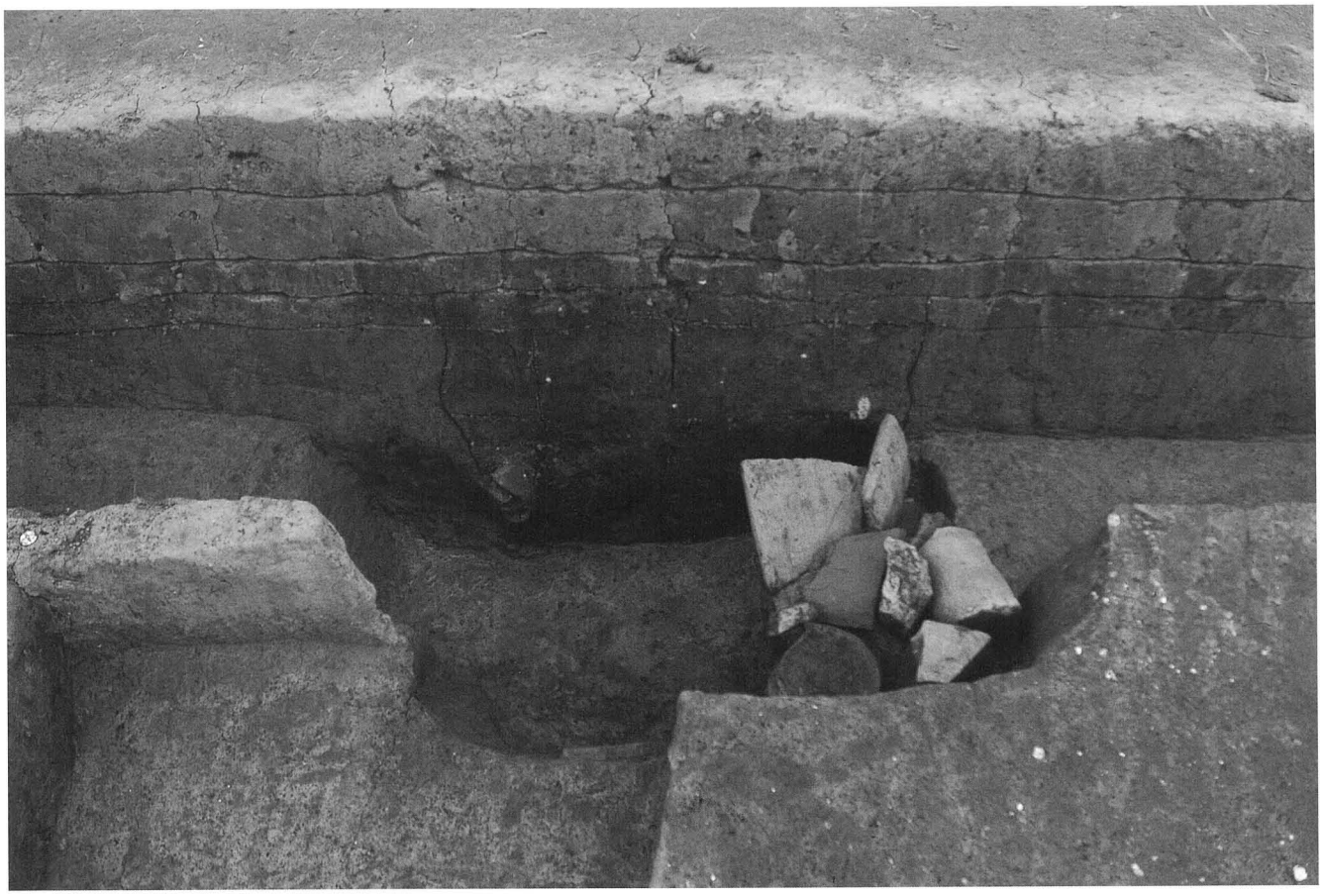
図版 2

中門跡の調査を実施した T37 の全景（北から）



南門跡から中門跡の間に設定した T45 の全景（南から）

図版 4



T45-SP4501 土層堆積状況（南から）

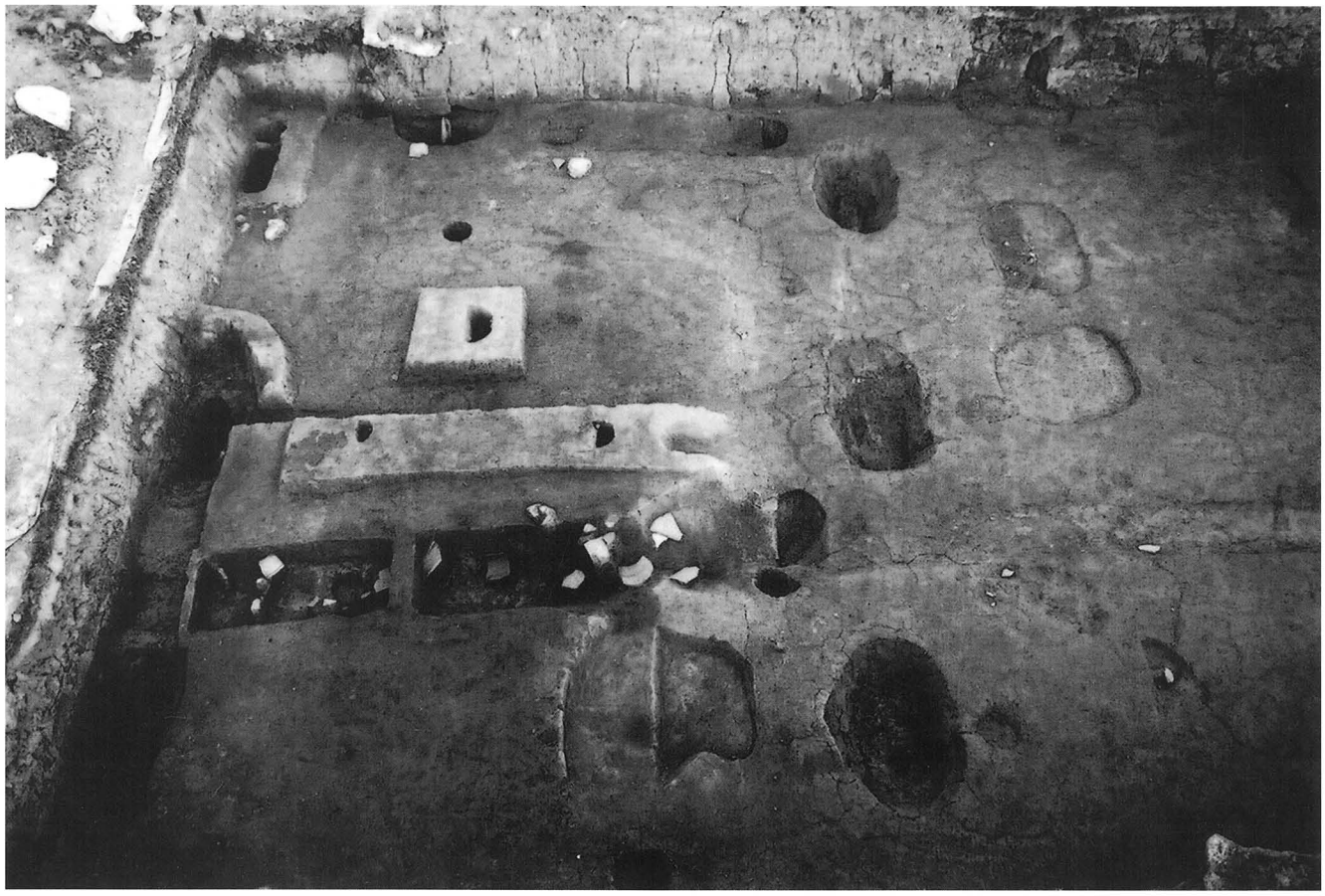
T45-SP4502 瓦片出土状況（北から）

南面東回廊跡の調査を実施した T38 の全景（北から）

T38-SD3812 全景（南から）

T38-SD3812 遺物出土状況（南から）

図版 6



T38-SB3801 全景（西から）

4 次調査時に回廊柱穴とされた T38-SP3808（南から）

南面東回廊跡の調査を実施した T39 の調査後全景（南東から）

T39 の全景（北から）

図版 8

北面東回廊跡の調査を実施した T41 の全景（北から）

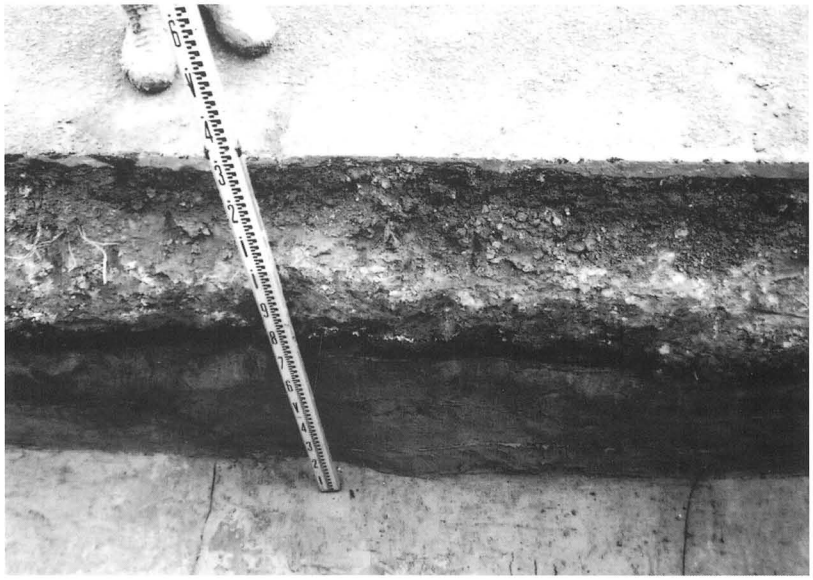
T41 の全景（南から）

北面東回廊跡の調査を実施 T42 の全景（西から）

T42-SP4203 全景

図版 10

T43 僧房北方地区
土層堆積状況（丘陵部）



T43 僧房北方地区
土層堆積状況（谷部）

T43 国分寺南辺地区
土層堆積状況

T43 金堂跡隣接部土層堆積状況

T43 講堂跡隣接部土層堆積状況

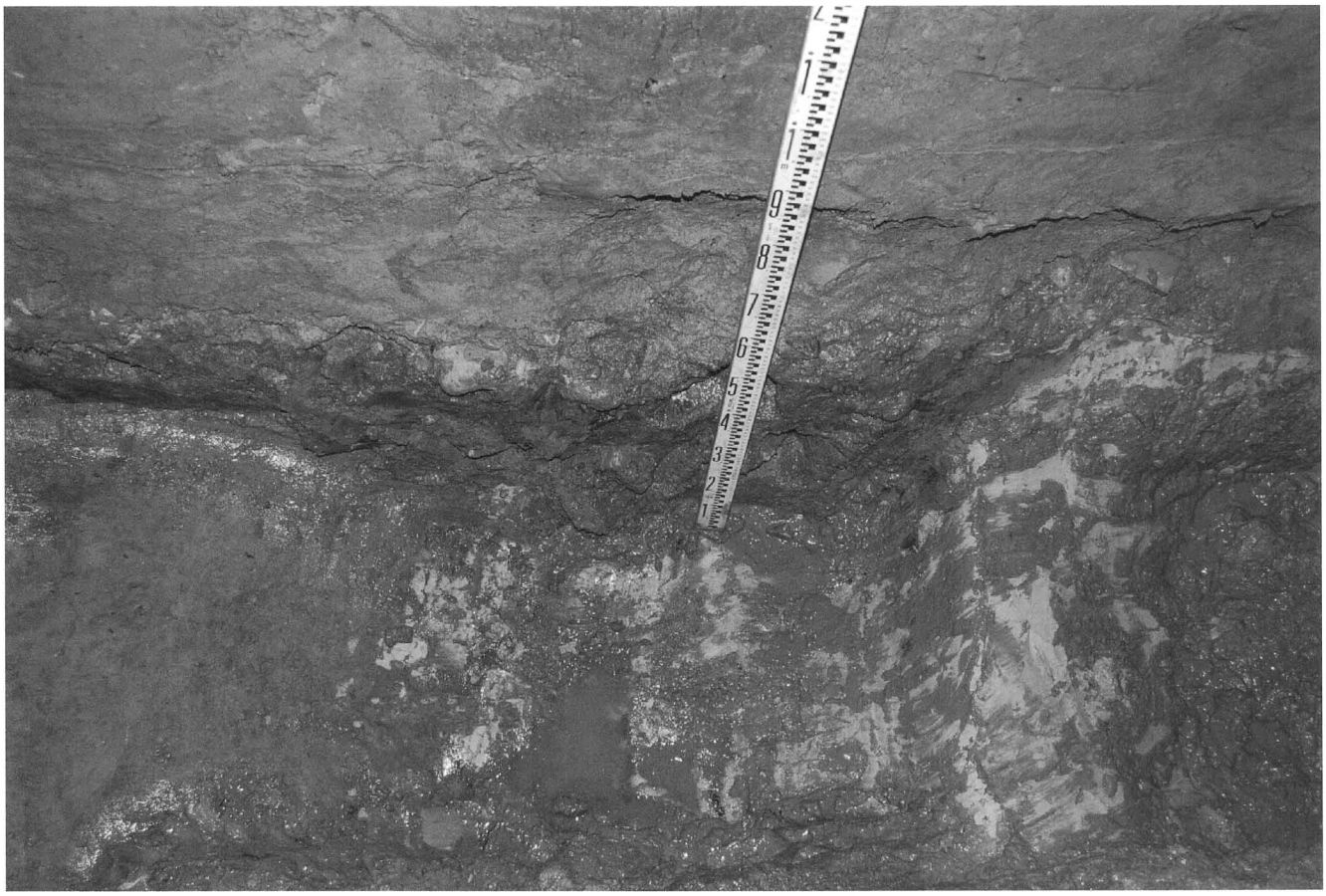
T43 僧房跡隣接部土層堆積状況

図版 12

T43-SD4308・4309 土層堆積状況（東から）

T43-SD4309 全景（南から）

T43-SD4315 遺物出土状況（南東から）

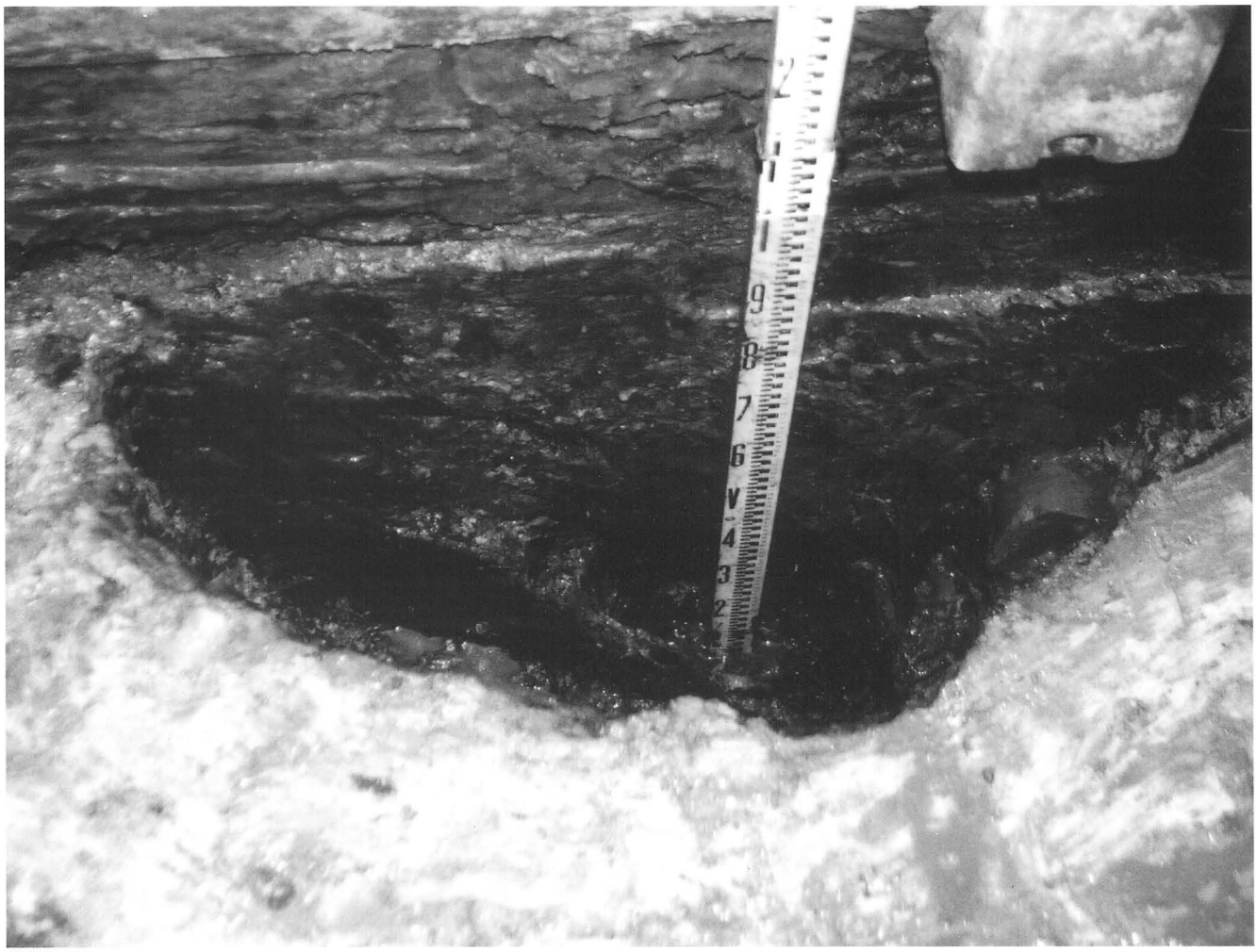


T43-SD4315 全景（南東から）

図版 14

T43-SD4325 全景（北東から）

T44-SS4401 全景（北から）



T44-SE4407 全景（北から）

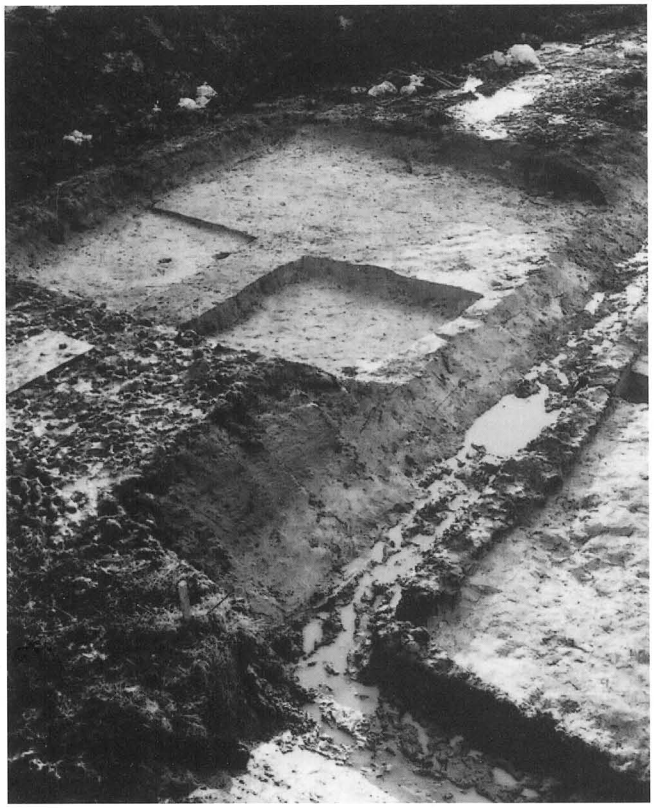
T44-SK4402 遺物出土状況（南から）

T44-SK4404 全景（北東から）

図版 16

伽藍地南東角先の調査を実施した T40 の全景（南東から）

T40 全景（西から）



T40 拡張区全景（北東から）

1 次調査後に撮影された空中写真（昭和 30 年）

昭和 34 年度の史跡整備時に設置された
史跡出雲国分寺跡復元図の看板写真

図版 18

昭和 34 年度の整備前の状況

金堂跡

講堂跡

僧房跡

金堂へは周辺に四散していた礎石の据え直しが実施されている（昭和 32 年度）

2 次調査後に調査地の埋め直しは実施されておらず、遺構面が露出した状況である。

昭和 34 年度の整備後の状況

金堂跡

講堂跡

僧房跡

整備後の僧房の礎石には、実際に検出された礎石が利用されていたのかもしれない。

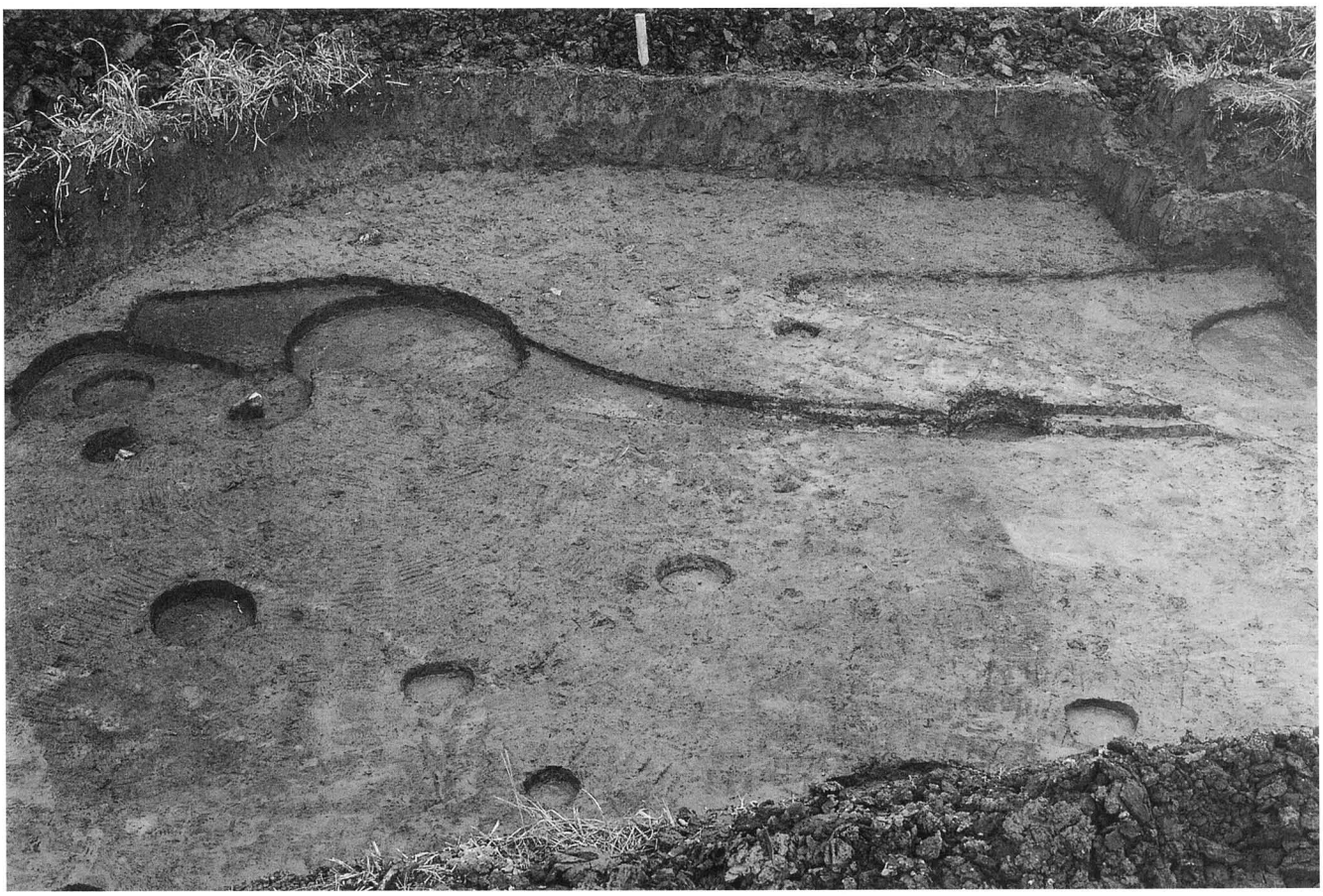
3 次・4 次調査前の状況が分かる写真。

図版 20

4 次調査時の南面東回廊跡：11 次調査の T38 設定箇所（北西から）［© 風土記の丘］

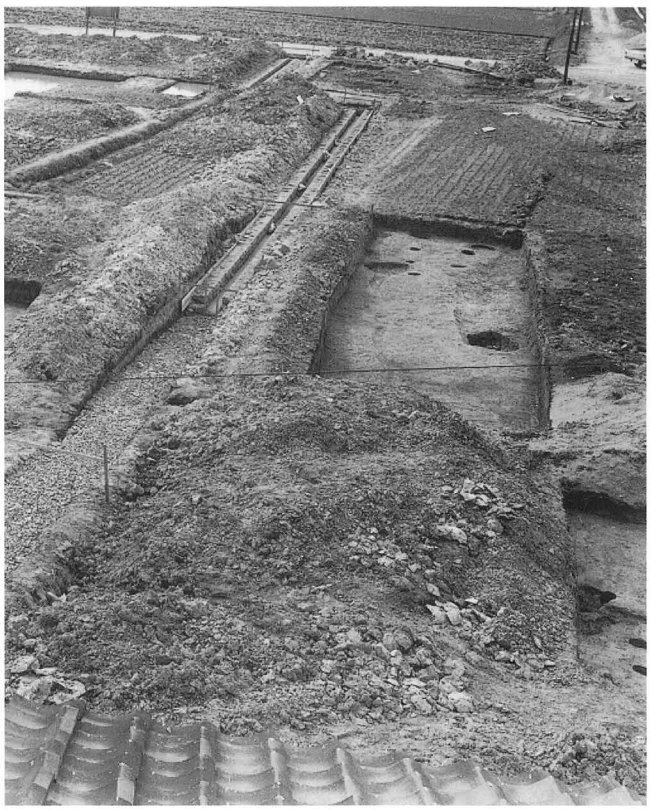
4 次調査時の回廊跡南東角：11 次調査の T39 設定箇所（西から）［© 風土記の丘］

4 次調査時の北面東回廊跡：13 次調査の T41 設定箇所（南から）［© 風土記の丘］



4 次調査時の回廊跡北東角：13 次調査の T42 設定箇所か（撮影方向不明）［© 風土記の丘］

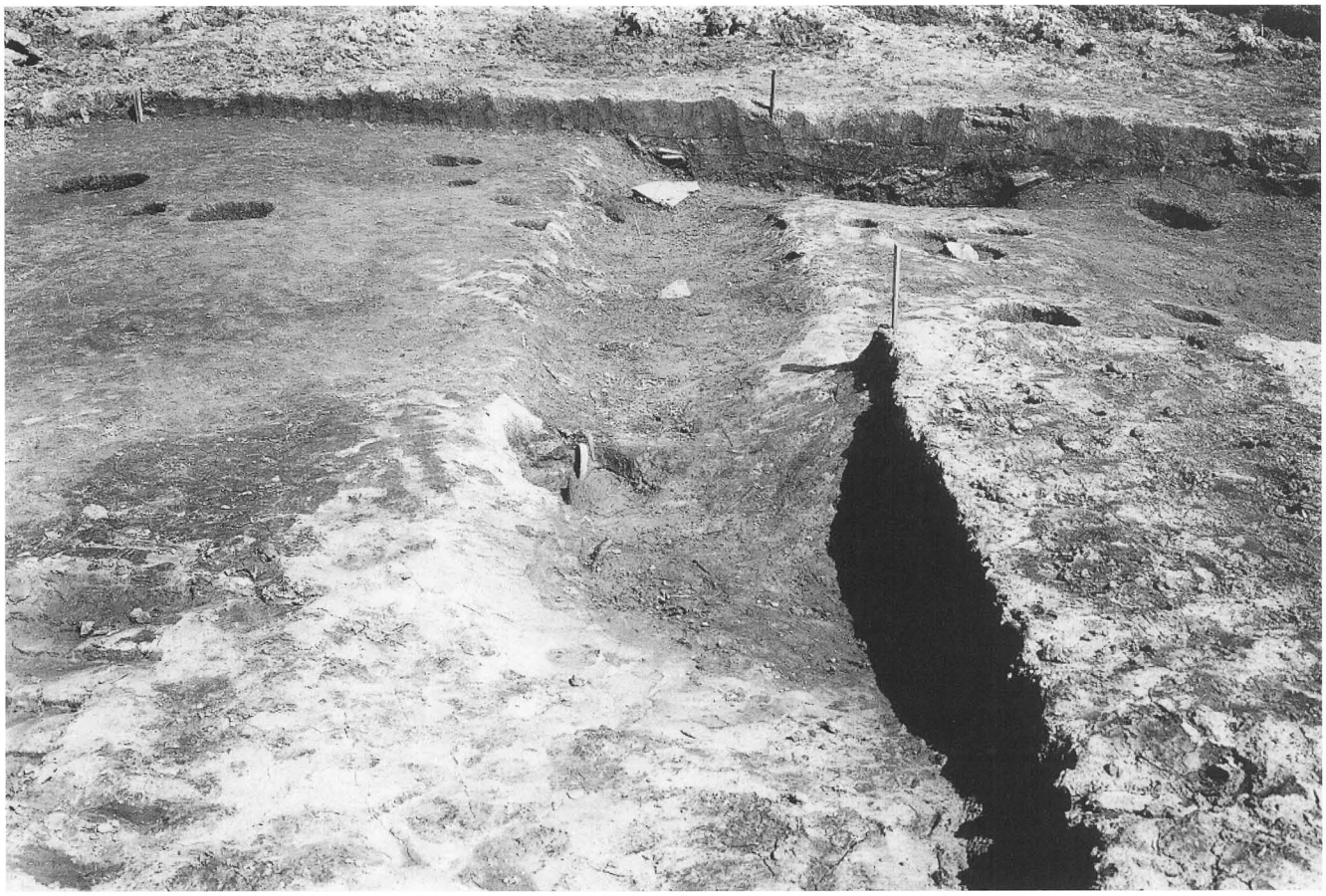
図版 22



4 次調査時の写真：写真中央のトレンチの奥が 16 次調査の T45 設定箇所（北から）［© 風土記の丘］

4 次調査時の写真：南面東回廊跡の内側柱穴列と平行する瓦列（北から）［© 風土記の丘］

4′ 調査区の写真：調査担当者が僧房跡北西隅基壇と考えた高まりと礎石（北から）［© 風土記の丘］



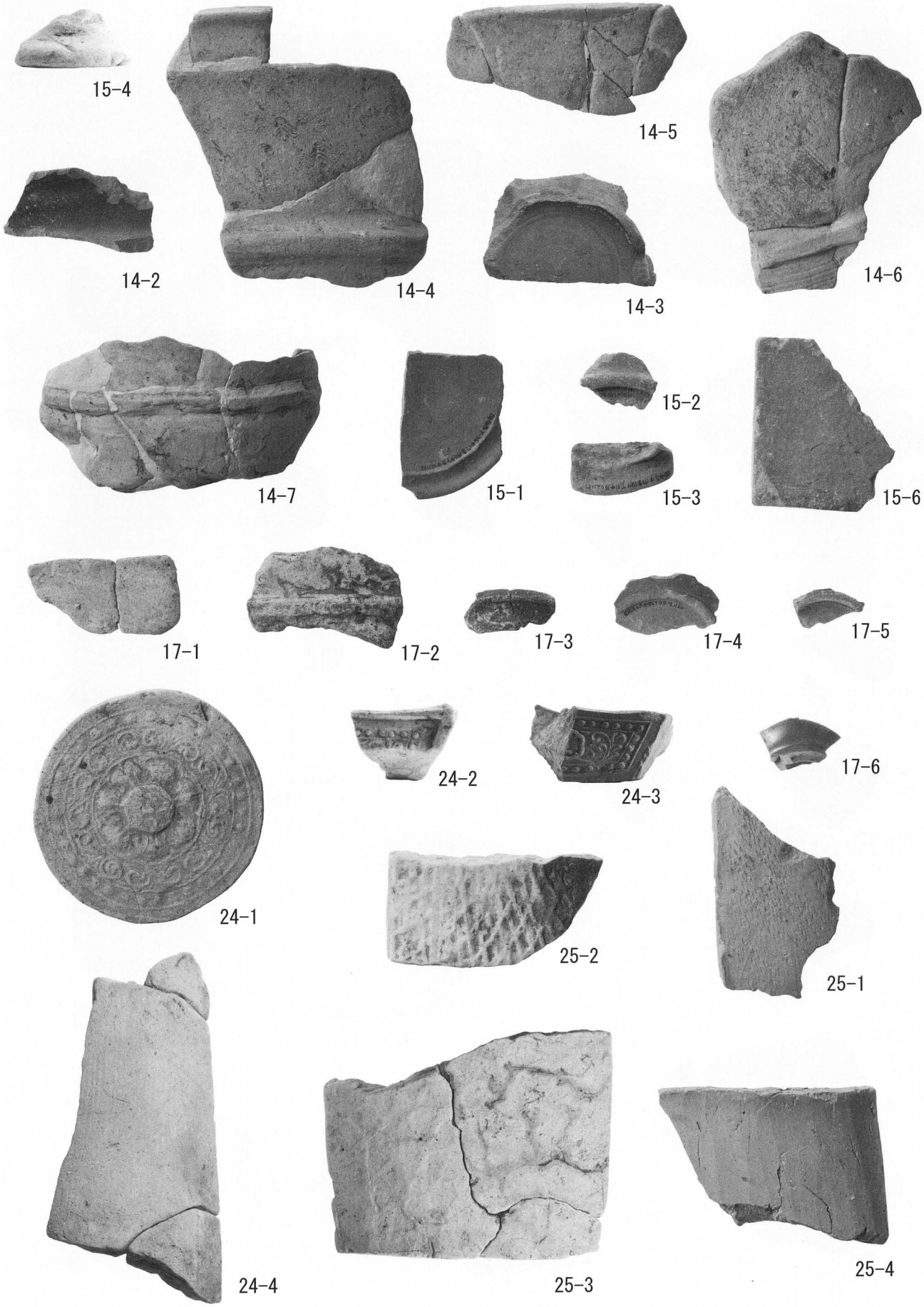
4′ 調査区の写真：僧房跡の北側に位置する東西溝（西から）［© 風土記の丘］

4 次調査の塔跡全景（西から）［© 風土記の丘］

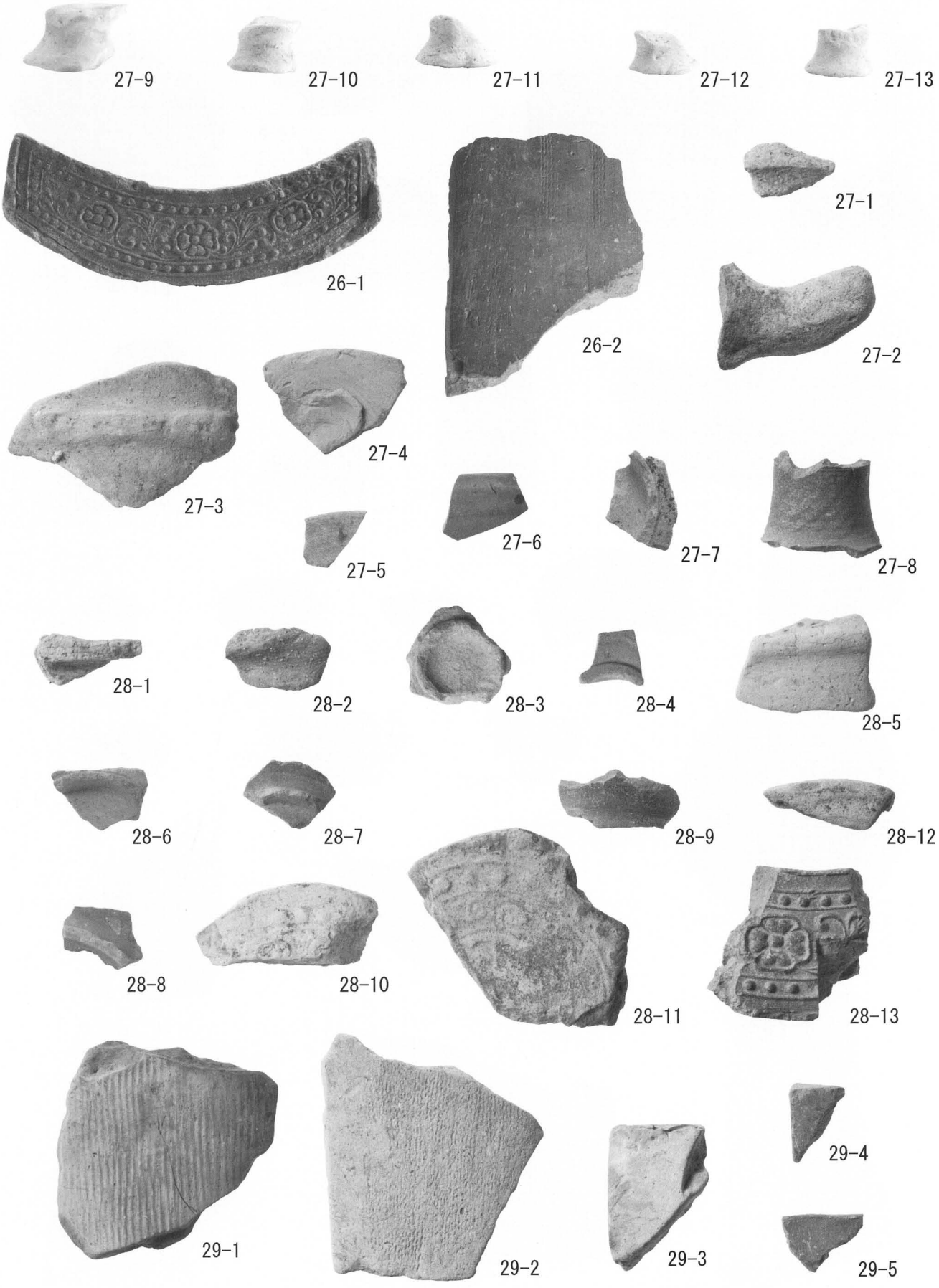
図版 24

風土記の丘整備事業後の空中写真（昭和 48 年頃）［© 風土記の丘］

現在の史跡出雲国分寺跡の空中写真（平成 25 年 7 月撮影）［© 風土記の丘］

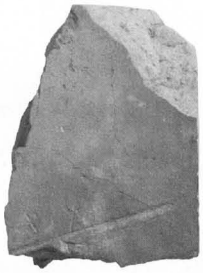


T36・37・45（10・16 次調査）出土遺物



T45（16 次調査）出土遺物

34-1

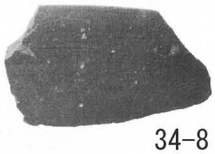

34-3

34-5

34-6

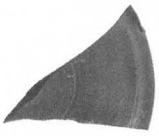
34-7

34-4


34-8

34-9

34-10

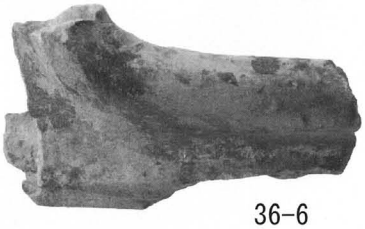

36-1

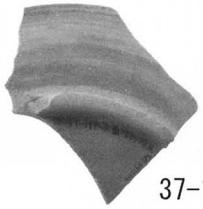
36-2

36-3

36-4

36-5


36-6


37-1

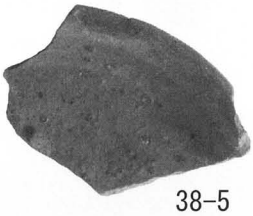
37-2

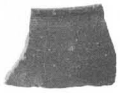
37-3

37-4

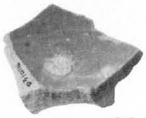
38-1

38-3


38-5


38-2

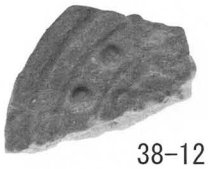
38-4


38-6

38-7

38-8

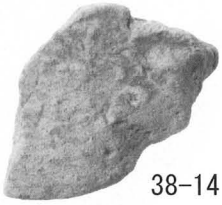
38-11


38-12

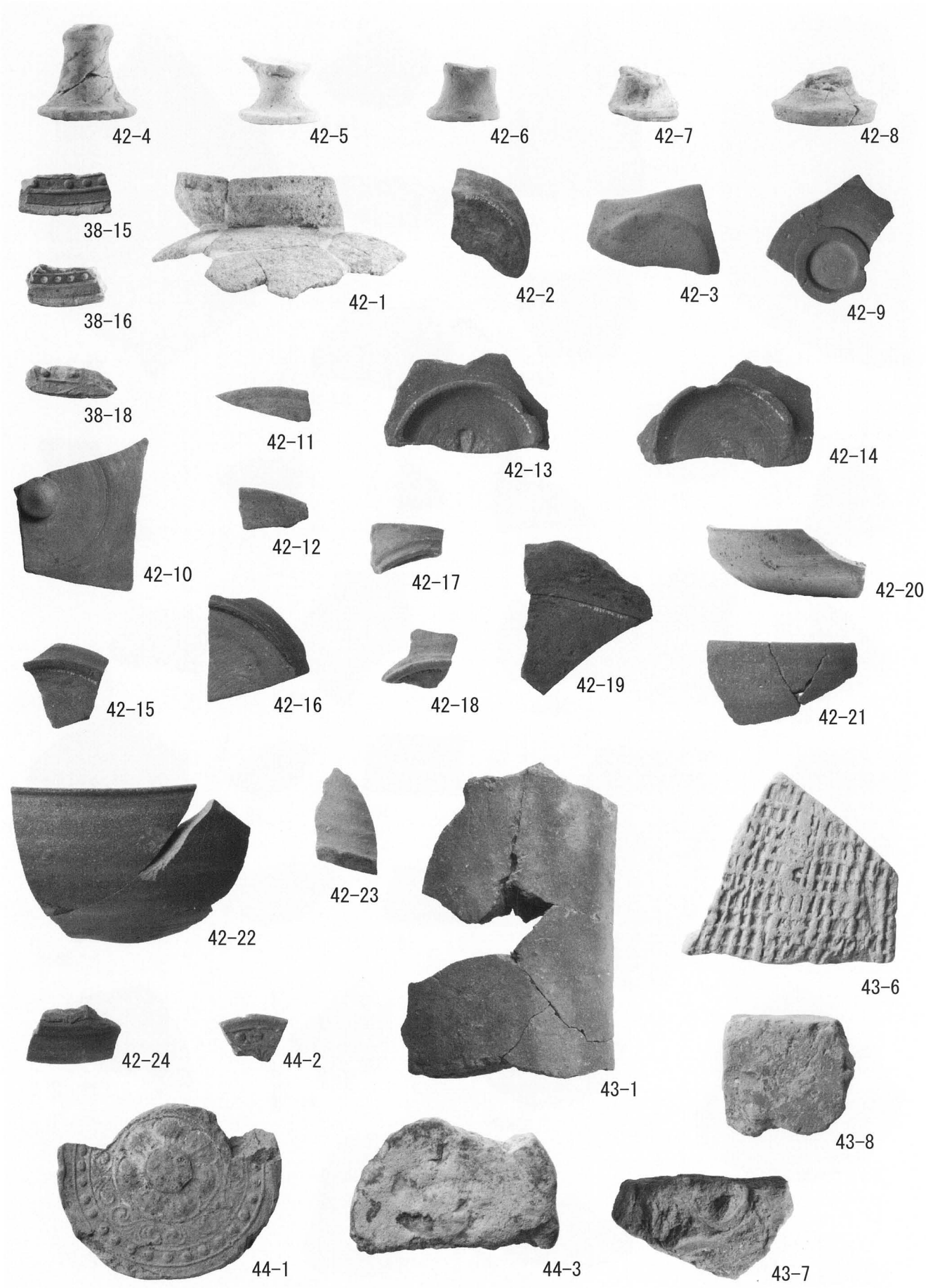
38-9

38-10

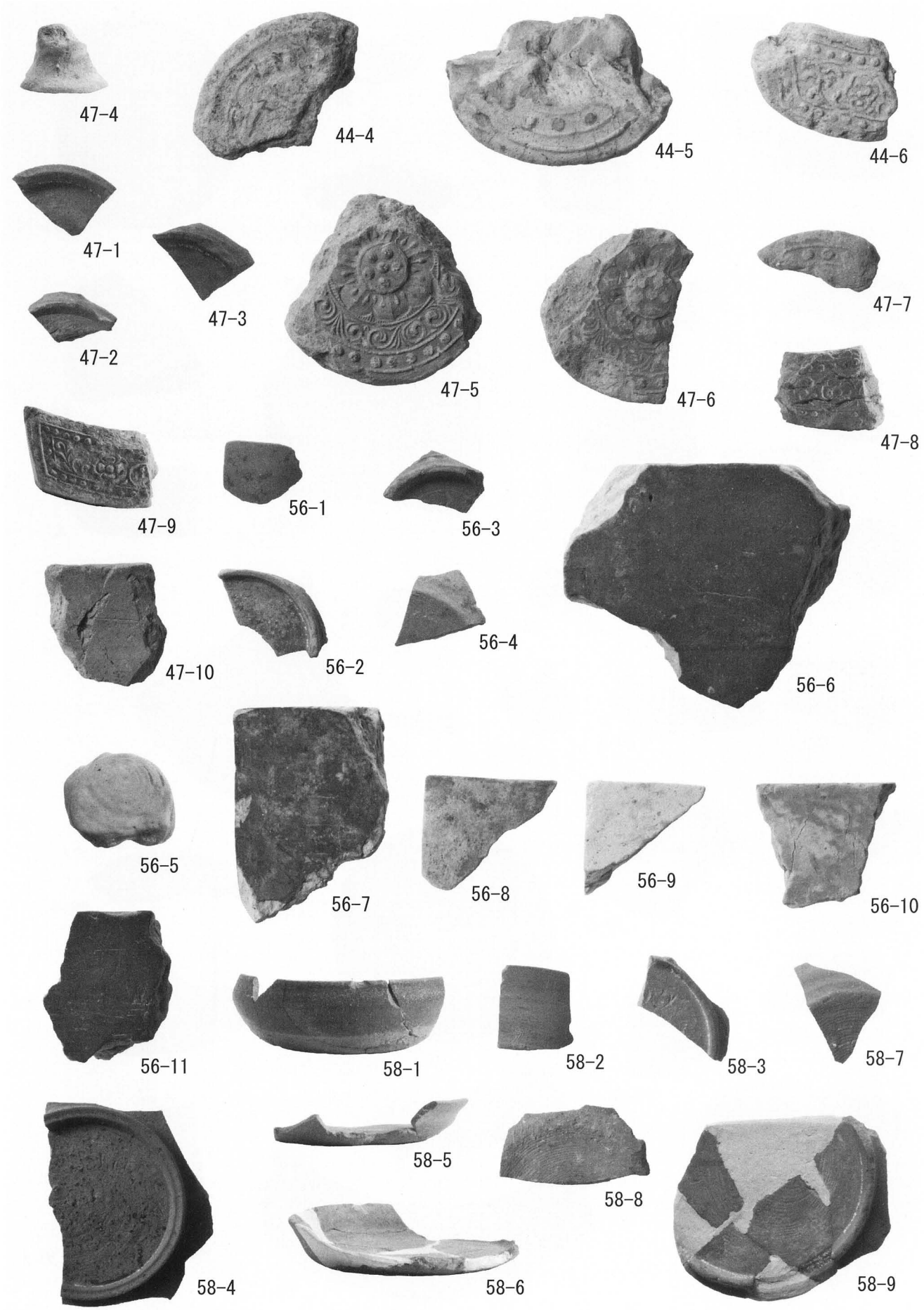
38-13


38-14

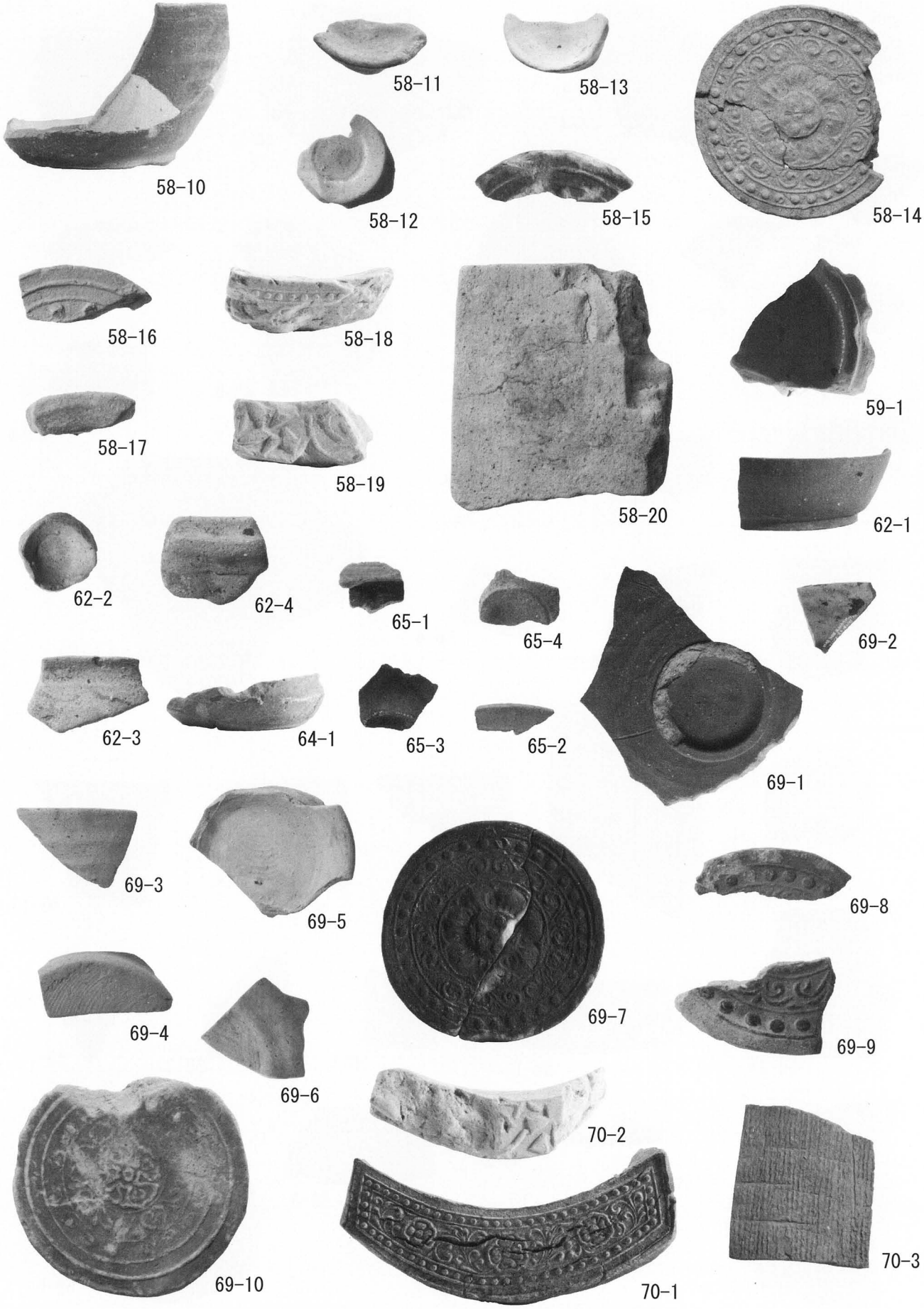
T38・39（11 次調査）出土遺物



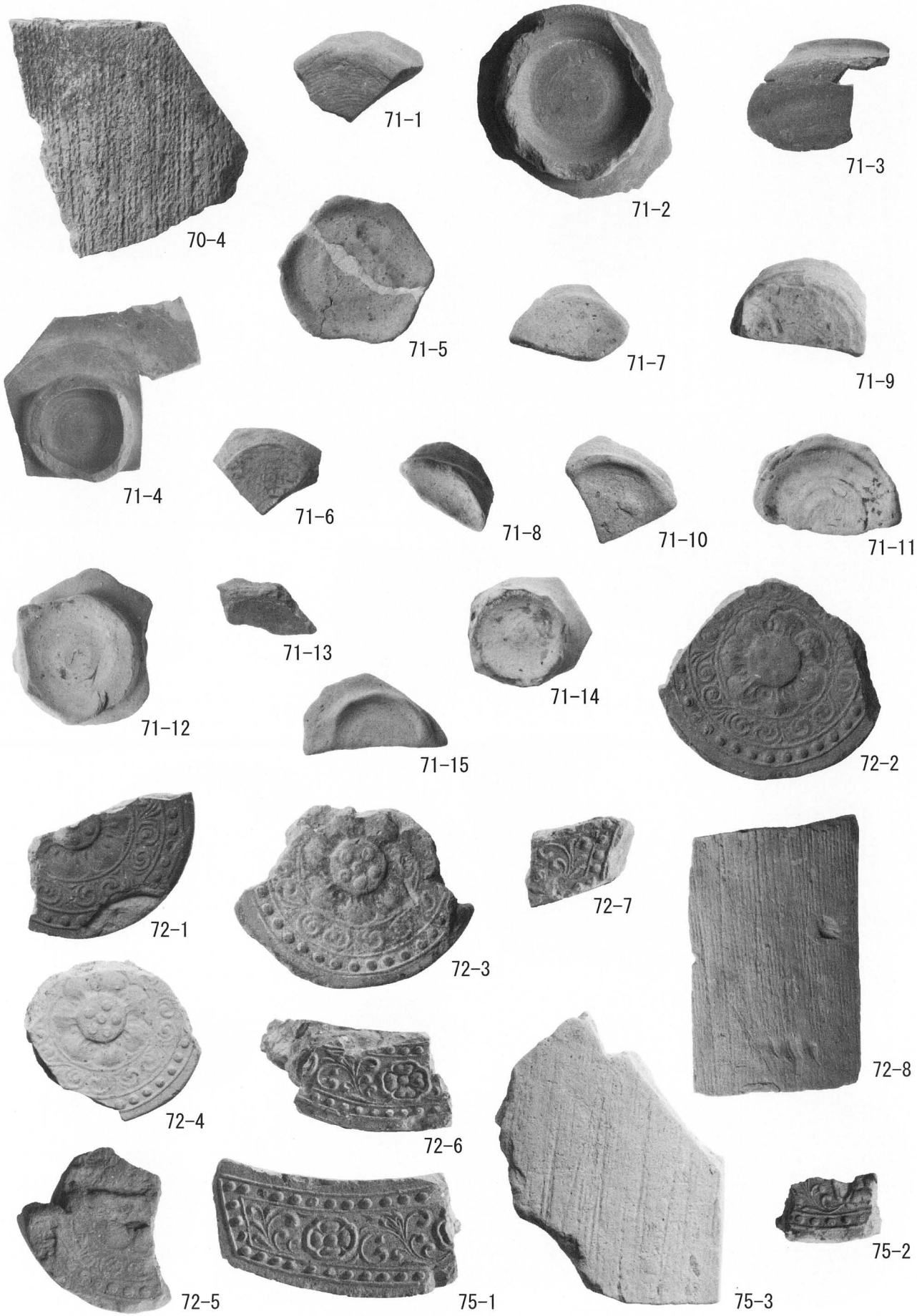
T39・41（11・13 次調査）出土遺物



T41・42・43（13・14 次調査）出土遺物



T43（14 次調査）出土遺物



T43（14 次調査）出土遺物

T44・40（14・12 次調査）出土遺物

軒丸瓦 1 型式と軒平瓦 1 型式（セット）S=1：2

軒丸瓦 2 型式と軒平瓦 2 型式（セット）S=1：2

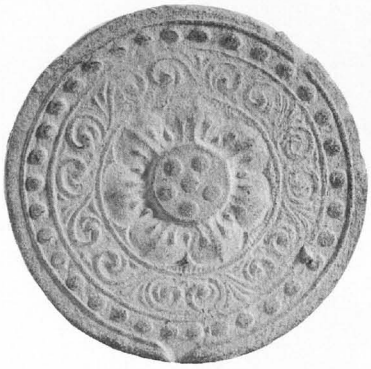
軒丸瓦 3 型式
(124-1)

軒平瓦 3 型式
(136)

軒平瓦 6 型式
(138-2)

軒平瓦 6 型式
(138-1)

軒丸瓦 3 型式と軒平瓦 3・6 型式（セット） S=1：2



1. 軒丸瓦 1A 型式
(120-1)

2. 軒丸瓦 1B 型式
(122-2)

3. 軒丸瓦 2 型式
(123-2)

4. 軒丸瓦 2 型式
(123-3)

5. 軒丸瓦 3 型式
(124-1)

6. 軒丸瓦 4 型式
(126-1)

軒丸瓦（1 ～ 4 型式） S=1 : 2

1. 軒平瓦 1A 型式
(127-1)

2. 軒平瓦 1B 型式
(128-1)

(129-1)

(129-2)

3. 軒平瓦 1C 型式

4. 軒平瓦 1D 型式
(130-1)

5. 軒平瓦 1E 型式
(131-1)

6. 軒平瓦 1F 型式
(132-1)

軒平瓦（1A ～ 1F 型式） S=1：3

1. 軒平瓦 2A 型式
(134-6)

2. 軒平瓦 2B 型式
(134-5)

3. 軒平瓦 3 型式
(135)

4. 軒平瓦 4 型式
(136)

5. 軒平瓦 5 型式
(137)

6. 軒平瓦 6 型式
(138-2)

7. その他
(139-1)

軒平瓦（2 ～ 6 型式・その他） S=1：3

1. 軒丸瓦 1A 型式　瓦当裏面

2. 軒丸瓦 1A 型式　瓦当裏面

3. 軒丸瓦 1B 型式　瓦当裏面

123-2

4. 軒丸瓦 2 型式　瓦当裏面（溝有）

123-3

5. 軒丸瓦 2 型式　瓦当裏面（溝無）

124-1

6. 軒丸瓦 3 型式　瓦当裏面

7. 軒丸瓦 3 型式　瓦当裏面

126-4

8. 軒丸瓦 4 型式　瓦当裏面

126-5

9. 軒丸瓦 4 型式　瓦当裏面

10. 軒丸瓦 1B 型式　瓦当面の木目

120-3

11. 軒丸瓦 1A 型式　枷型による段と枷型合せ目

121-3

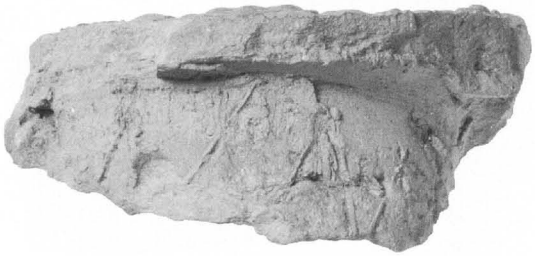
1. 軒丸瓦 1A 型式　丸瓦接合部の平行刻み（凸面）

121-3

2. 軒丸瓦 1A 型式　丸瓦接合部の平行刻み（凹面）

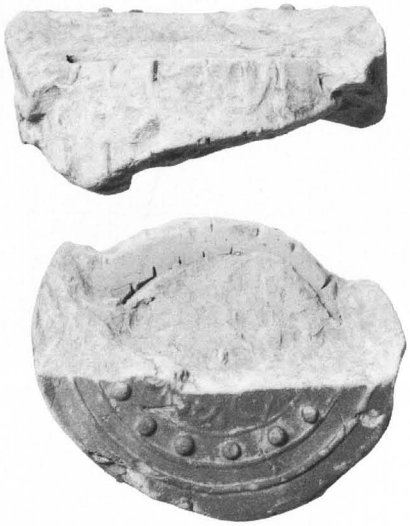
121-2

3. 軒丸瓦 1 型式　丸瓦の両隅を切って刻みを施した例



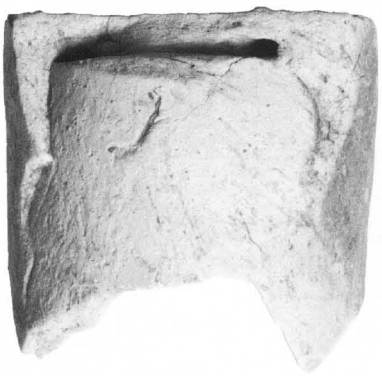
121-2

4. 軒丸瓦 1 型式　丸瓦接合部の交差刻み



124-1

5. 軒丸瓦 3 型式　丸瓦接合部凹凸面の平行刻み



125

7. 軒丸瓦 3 型式　丸瓦接合部凸面の放射状の溝

124-3

6. 軒丸瓦 3 型式丸　瓦接合部に調整がないもの

126-1

8. 軒丸瓦 4 型式　笵傷

131-1

1. 軒平瓦 1E 型式　笵傷発生状況

133-5

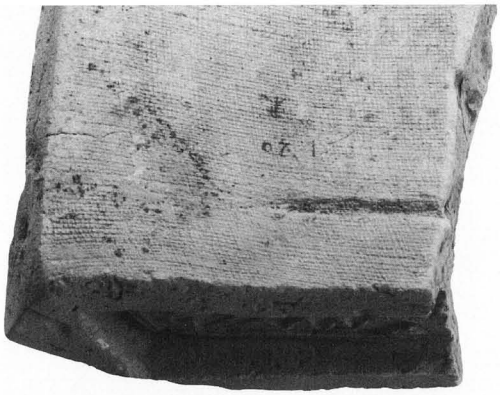
2. 軒平瓦 1F 型式　笵傷発生状況

134-1

3. 軒平瓦 2 型式　平瓦接合部に溝を設けるもの

134-4

4. 軒平瓦 2 型式　平瓦接合部が平担なもの



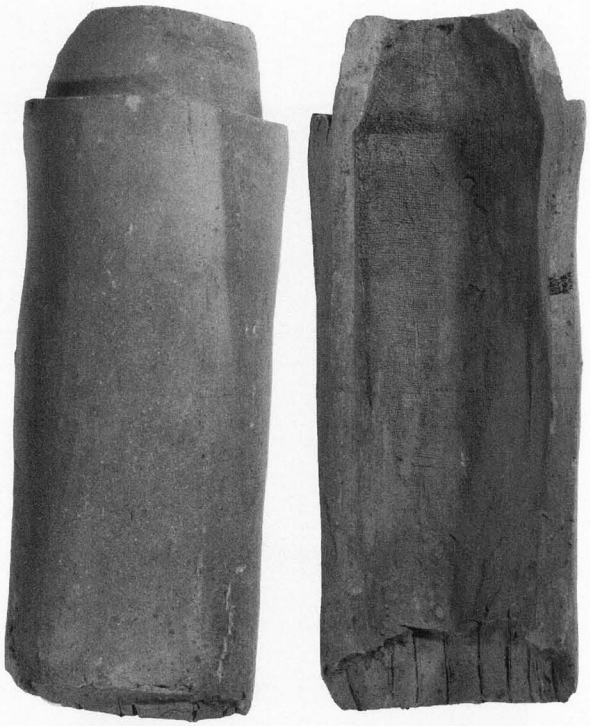
137

5. 軒平瓦 5 型式　平瓦部から瓦当上面にかけて一連の布目圧痕

6. 軒平瓦 5 型式　布目圧痕が上外縁に残る

137

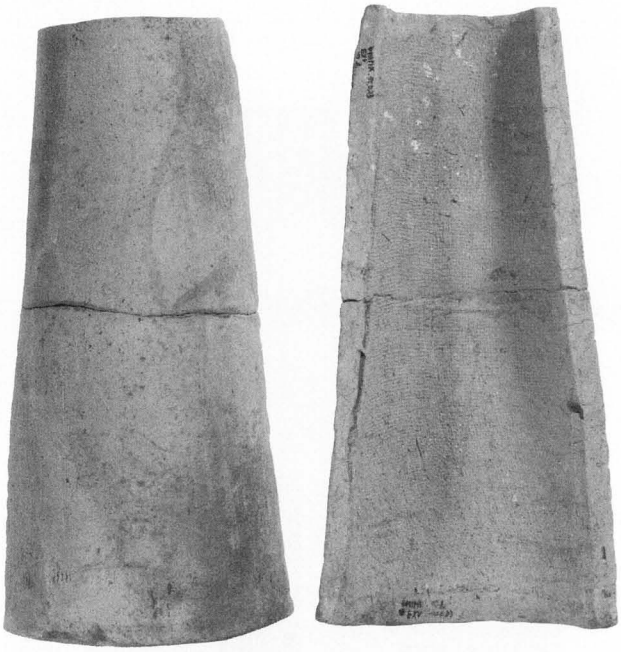
7. 軒平瓦 5 型式　布目圧痕が側面に残る



121-2

1. 軒丸瓦丸瓦部（有段）

143-1



142-2

143-2

2. 無段式丸瓦

3. 隅落丸瓦

147-1

1. 平瓦

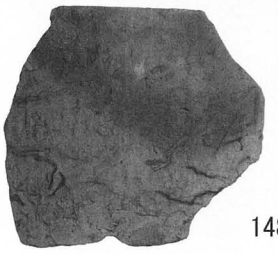
147-2

2. 大きな平瓦

148-1

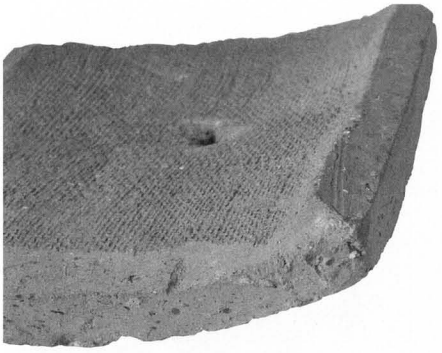
1. 切熨斗瓦

148-2

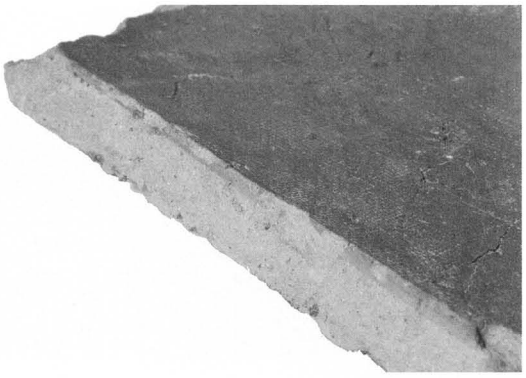


148-3

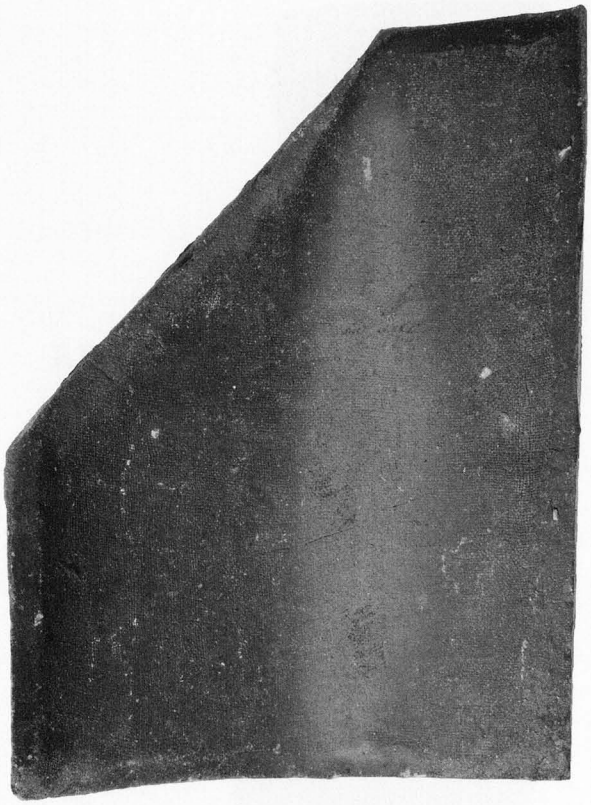
2. 半切熨斗瓦

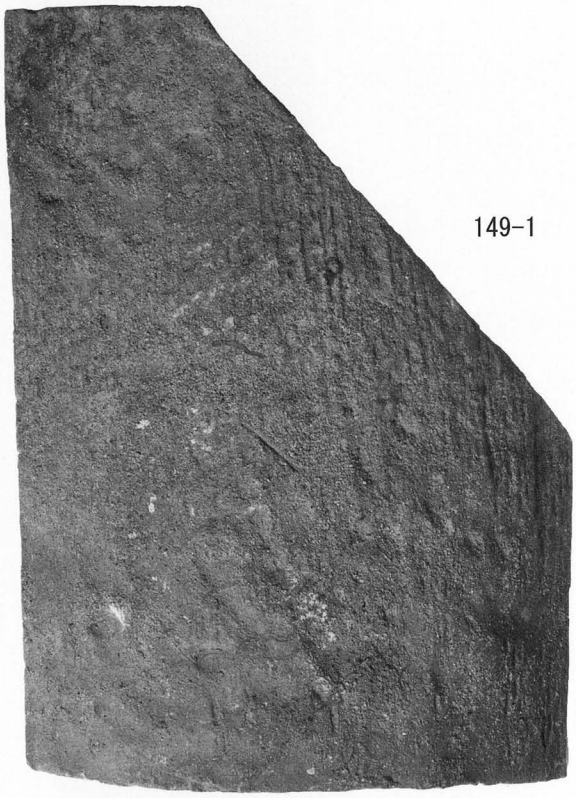


3. 切熨斗瓦の平瓦中央部切断状況



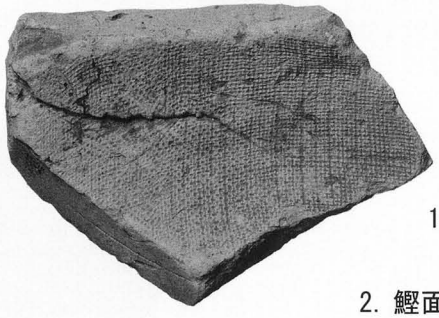
4. 半切熨斗瓦の分割界線と割面





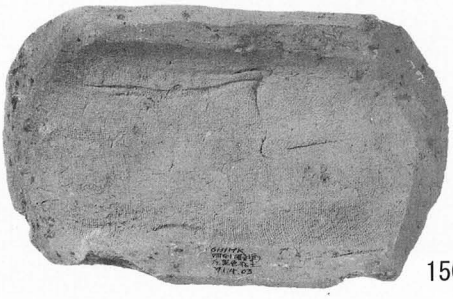
149-1

1. 隅切平瓦



150-2

2. 鰹面戸瓦



150-7

3. 大型面戸瓦

1. 蟹面戸瓦

152-1

2. 鬼瓦

152-3

3. 鳥衾

152-4

1. 釘孔のある平瓦

156-1

3. 塼

152-5

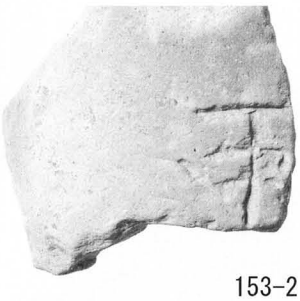
2. 幅の狭い瓦

153-1

4. 文字瓦「牛」

153-3

5. 文字瓦「勝」



153-2

6. 文字瓦「虫」

153-4

7. 文字瓦の可能性有り

154-1

8. 文字瓦　平瓦側面に「人麻人万人口」とある

報　告　書　抄　録

ふりがな	しせきいずもこくぶんじあとはっくつちょうさほうこくしょ　そうかつへん
書名	史跡出雲国分寺跡発掘調査報告書　－総括編－
副書名	
巻次	
シリーズ名	松江市文化財調査報告書
シリーズ番号	第166集
編著者名	宇津直樹、江川幸子、川上昭一、渡邉正巳
編集機関	松江市教育委員会（歴史まちづくり部　まちづくり文化財課　埋蔵文化財調査室） 公益財団法人松江市スポーツ振興財団
所在地	（歴史まちづくり部　まちづくり文化財課　埋蔵文化財調査室） 〒690-8540 島根県松江市末次町86番地　TEL:0852-55-5284 （公益財団法人松江市スポーツ振興財団） 〒690-0401 島根県松江市島根町加賀1263-1　TEL:0852-85-9210
発行年月日	平成27（2015）年3月30日

ふりがな 所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しせきいずもこくぶんじあと 史跡出雲国分寺跡 10次調査	島根県松江市 竹矢町字寺領 97-4ほか	32201	A012	35° 26′ 18″	133° 6′ 38″	20021028 ～ 20030214	98㎡	史跡整備
〃 11次調査	島根県松江市 竹矢町字寺領 94-1ほか	〃	〃	〃	〃	20030901 ～ 20031128	158.5㎡	史跡整備
〃 12次調査	島根県松江市 竹矢町 455-7	〃	〃	〃	〃	20040927 ～ 20041112	342㎡	個人住宅
〃 13次調査	島根県松江市 竹矢町字寺領 99-2ほか	〃	〃	〃	〃	20051003 ～ 20060124	247㎡	史跡整備
〃 14次調査	島根県松江市 竹矢町字寺領 105-6ほか	〃	〃	〃	〃	20081222 ～ 20090226	270㎡	下水道工事
〃 16次調査	島根県松江市 竹矢町字寺領 93ほか	〃	〃	〃	〃	20100901 ～ 20110225	140㎡	史跡整備

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
史跡出雲国分寺跡 10次調査	寺院跡	奈良～平安時代	中門基壇南辺か	須恵器、土師器、瓦	中門跡の調査
〃 11次調査	〃	〃	柱列、南北方向の溝	〃	南面東回廊跡の調査
〃 12次調査	〃	〃	土坑、国分寺の整地層か	〃	伽藍地南東角先の調査
〃 13次調査	〃	〃	ピット	〃	北面東回廊跡の調査
〃 14次調査	〃	〃	伽藍地外周溝、井戸、礎石	〃	伽藍中枢域の調査
〃 16次調査	〃	〃	幢竿柱穴跡	〃	南門跡～中門跡間の調査

松江市文化財調査報告書　第166集
史跡出雲国分寺跡発掘調査報告書
- 総括編 -

発行日　平成27（2015）年3月30日
発行者　松江市教育委員会
（松江市まちづくり文化財課埋蔵文化財調査室）
〒690-8540　島根県松江市末次町86
Tel(0852) 55 - 5284
印　刷　株式会社　島根農協印刷
島根県松江市浜乃木2 - 10 - 52